

< その他、取組に特徴のある事例 >

## 集落全体で取り組む鳥獣害対策

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県北宇和郡松野町 目黒			
協定面積 48.8ha	田 (95%)	畑 (5%)	草地	採草放牧地
	水稻・野菜等	果樹・野菜等		
交付金額 980万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬 農道・水路管理費		4% 45%
協定参加者	農業者 85人			開始：平成12年度

### 2. 取組に至る経緯

目黒集落は、高知県四万十市に隣接し、四万十川支流の目黒川上流に位置する滑床溪谷の入口にあたる地区である。当集落の基幹産業は農林業であるが、農業者の高齢化と担い手不足により、農業が衰退しつつある。そこで、平成12年度より中山間地域等直接支払制度を活用して、農地の付帯施設の維持管理、景観形成作物(コスモス)の栽培、地元小学校・ほたる会と連携した「蛍の畦道」等のイベント開催、有害獣対策等に取り組んできた。

しかしながら、近年の有害獣の爆発的な増加と、農業者の高齢化も相まって、個別対応では鳥獣害対策は追いつかなくなってきたため、お互いを助け合う精神で、集団で鳥獣害対策に取り組むこととなった。

### 3. 取組の内容

当地域は6つの集落からなっているが、それぞれの集落で鳥獣害対策等について話し合いを行った結果、山際で有害獣の侵入を防ぐために、効率的に地域を大きく囲むように有害獣防護フェンスの設置を行った。



【有害獣防護フェンスの設置 1】



【有害獣防護フェンスの設置 2】

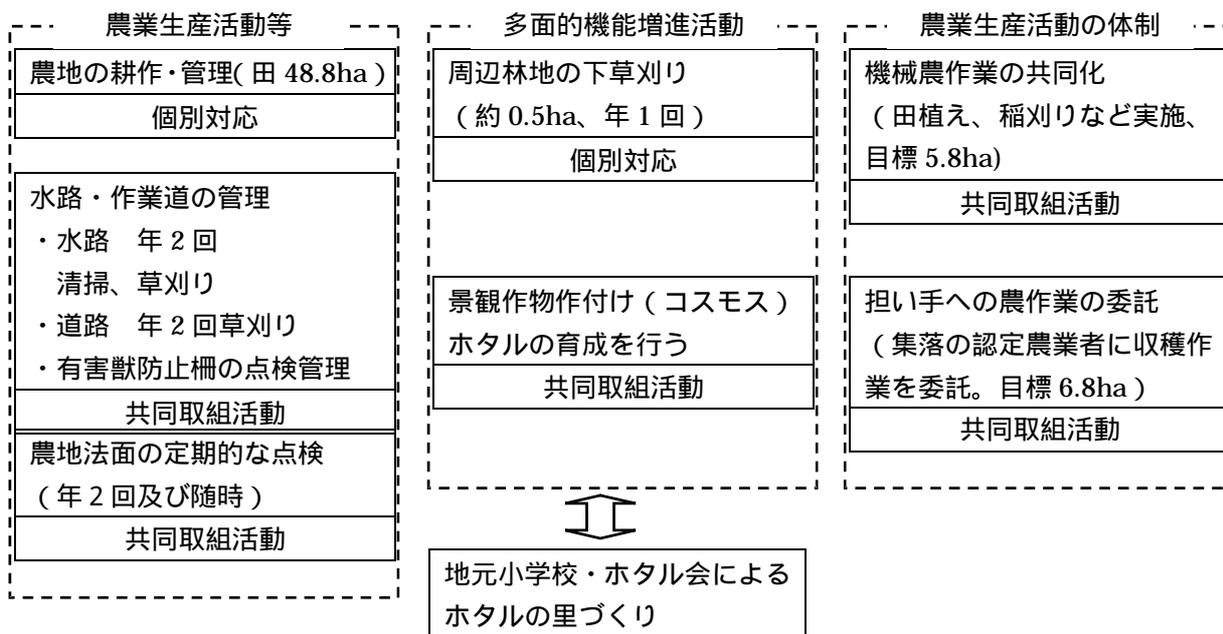
[ 集落の将来像 ]

集落の基幹産業は農林業であり、農業者の兼業・高齢化で優良農地の維持に困難をきたしているが、恵まれた自然環境を活かしつつ隣近所で助け合う精神で、これからも集落を守っていく。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

地元小学生との連携で、ホタルを守り育てる  
 助け合い農業の検討・実施  
 特産品の研究・開発  
 農作業の共同化及び担い手への作業委託



集落外との連携

農作業受託事業連絡協議会及び(株)農林公社アグリレスキューと連携

4 . 今後の課題等

これまでに行ってきた有害獣対策のための電気柵の設置は、ある程度成果はあったが、慣れによって効果が次第に薄れてきた。そこで、有害獣対策を強化する必要があることから、今回、防護フェンスの設置に取り組んだが、今後、その効果の検証等が必要である。

[ 第 2 期対策の主な成果 ]

集落での農作業共同化、作業委託 (当初0.5ha、目標5.8ha、実績6.2ha)

担い手への利用集積 (当初1.0ha、目標6.8ha、実績6.3ha)

多面的機能の持続的発展に向けた非農業者との連携 (花いっぱい運動や川清掃の実施)